

第4期市川市地域福祉計画の策定（案）についてのパブリックコメント実施結果

市川市 福祉部 福祉政策課

○期間：平成29年10月21日（土）から平成29年11月20日（月）まで

○意見を提出していただいた方の人数及び件数：1名21件

○ご意見への対応

- ①ご意見を踏まえて、案の修正を検討するもの
- ②ご意見の趣旨や内容について、考え方を盛り込み済みであるもの
- ③今後の参考とするもの
- ④その他

No.	ページ	意見概要	計画への反映	
			分類	詳細
1	1	「子どもから高齢者までの全ての市民」という表現を、「障害者を含め、子どもから高齢者までの全ての市民」に修正すべきである。	④	「子どもから高齢者までの全ての市民が」とは、全ての年齢層の市民という意味であり、障害者の方も区別することなく含んでいるため、修正しない。
2	1	市川市の特色ある姿勢を下記のように加筆すべきである。 「地域課題を行政課題として受け止め庁内で検討し、その結果を住民にフィードバックしたうえで、ともに解決に向けた取り組みを行うために、これまでの地域福祉計画を見直し、」	④	「計画策定の背景」の節にはなじまない内容である。7ページで同様の趣旨の修正を行っていることから、この節では修正しない。
3	7	「機能強化」の具体性に欠ける。下記のように加筆すべきである。 「地域課題を市川市が、行政課題としてきちんと受け止め庁内で検討し、その結果を住民にフィードバックしたうえで、ともに解決に向けた取り組みをすることでさらに機能強化する。」	①	意見の趣旨をふまえた記載をする。また、全体として自然な文脈になるよう、並べ直す。
4	11	行政施策が3期でどう動いてきたか反省も含めて記載すべきである。	④	パブリックコメント実施時点では未記載であったが、第3期計画に記載する進行管理事業について、平成28年度時点の実績とともに、成果と今後の課題を記載する。
5	21	「振り返りシート」とは何か、またそのシートをどう生かし、政策に反映するのか、市川市の意思を記載すべきである。	④	「これまでの取り組みの成果と課題」の章にはなじまない内容であるため、「計画の推進のために」の章内で「振り返りシート」を掲載する117ページにおいて、意見の趣旨をふまえた記載をする。
6	65～67	主要課題に以下の2項目を追加すべきである。 ○災害時の対応 災害時の要援護者名簿の再整備とその活用、小学校区防災拠点協議会との連携について記載すべきである。 ○これらにかかわる予算の確保・担保 お題目でなく、確実に実行できるよう財政的な支援を保証すべきである。	④	○災害時の対応について 災害時の対応については「市川市地域防災計画」が中心的な役割を果たすことになることから、地域福祉計画の主要課題として挙げることはなじまないため、修正しない。 ○予算の確保・担保について 予算については、毎年度、庁内の査定及び市川市議会での議決をへて確定するものであるため、これを担保するような記載をすることは難しい。
7	68	第3期計画の総括に記載していた「庁内推進連絡会の推進」がその後も機能していなかったことの反省を記載すべきである。	①	意見の趣旨をふまえた記載をする。
8	69	第3期計画で懸案として挙げられていた適正な規模とは言い難い小域福祉圏におけるブロック制について検討経過を記載すべきである。	①	意見の趣旨をふまえた記載をする。
9	69	計画期間について、3年ごとの中間見直しを記載すべきである。	③	「計画期間」の節（9ページ）で見直しについて記載していることから、この節においては記載しない。
10	72	「市民一人ひとりが生きがいをもって日常生活を送るためには、就労支援や生涯学習環境の充実が必要です。」について、イメージを明確にするため、「市民一人ひとり」を「元気高齢者や就労機会に恵まれない障害者等」（8月の市川市社会福祉審議会諮問資料の記載）に修正すべきである。	④	8月の市川市社会福祉審議会への諮問の後、審議会での委員意見をふまえ、施策の方向に「生涯学習環境の充実」を新規に追加し、ご指摘の文についても、「生涯学習環境の充実」を追加している。このことを勘案すると、「元気高齢者・就労機会に恵まれない障害者等」とイメージを限定しないほうがよいと考えているため、修正しない。
11	76	【事業】を【進行管理事業】に修正すべきである。 以降、114ページまで共通	①	意見のとおり修正する。
12	77	「高齢者・障害・子育て等の分野の地域の関係機関と連携していく。」を、「高齢者・障害者・子育て等…」と修正すべきである。	①	意見のとおり修正する。

13	81、82	「認知症高齢者や知的障害者、精神障害者、子ども等が必要な支援を…」を、「認知症高齢者や知的障害者、精神障害者、子ども、女性等が必要な支援を…」に、「高齢者、障害者、子ども等への虐待…」を「高齢者、障害者、子ども、女性等への暴力・虐待」に、それぞれ修正すべきである。	④	いずれの部分も「…、子ども等」の「等」に女性も含んでいる。性別による区別をしないこととし、修正しない。
14	84	施策の方向5「サービスの質の向上」の関連事業に、第3次いちかわハートフルプランの事業が掲載されていないので、追加すべきである。	①	相談支援の質の向上を図る事業である「相談支援グループスーパービジョン」を第3次いちかわハートフルプランに位置づける関連事業として、追加で掲載する。
15	86	事業「コミュニティワーカーの配置」について、14地区に4名でよいのか検討すべきであり、「コミュニティワーカーが専門職としての機能が生かせるよう適正な配置を検討する」と記載すべきである。	①	意見の趣旨をふまえた記載をする。
16	87	コラム「地域ケアシステム」について、「地域ケアシステムの創設から10年以上が経過しましたが…」を「地域ケアシステムの創設から17年経過しましたが…」と修正すべきである。	①	意見のとおり修正する。
17	89	「本市は避難行動要支援者名簿、減災マップ・洪水ハザードマップを使用し」の後に、「小学校区防災拠点協議会との連携も図り」を加筆すべきである。	①	意見の趣旨をふまえ、小学校区防災拠点協議会との連携に言及するよう修正する。（危機管理課に確認済）
18	109	事業「地域活動の担い手養成研修」の数値目標等について、大まかな内容だけでも記載すべきである。やるのかやらないのか不明の記載である。	④	事業「地域活動の担い手養成研修」については、平成30年度予算要求中であり、実施が確定していない。予算が確保でき次第、数値目標を記載する。
19	111	事業「地域活動拠点の整備（地域ケアシステム推進事業）」について、14の小域福祉圏域でよいのか、大規模な小域福祉圏はブロック化するなどの視点と合わせて、拠点整備を考えるべきであり、「適正な活動拠点」という表現にすべきである。	①	意見の趣旨をふまえて修正する。
20	115	地区推進会議から市川市に「報告・提案」、市川市から地区推進会議に「報告」という記載になっているが、それだけではなく、地区推進会議であげられた課題についてきちんと庁内で議論し結果を戻すことを担保するような表現にしてほしい。	①	図の上の文章部分で、意見の趣旨をふまえて修正する。
21	117	振り返りシートをうめる作業を福祉政策課が責任をもって行い、どのように地域包括ケアシステム推進委員会で庁内議論へ持っていき、住民サイドにフィードバックできるかが今後福祉政策課の重要な役割になる。そこをはっきり記述してほしい。社会福祉協議会のシートであるかと読めるような記述はやめ、「行政が行う振り返りシートを社会福祉協議会とともに作成する」などの表現とし、市の責任をはっきりしてほしい。	①	意見の趣旨をふまえ、「本市は、施策の検討にあたっての地域課題の正確な把握と、地域課題に関する適切な進行管理のため、このシートを活用していきます。」と、市が主体的に振り返りシートを活用する趣旨の記載を追加する。